

予算特別委員会 Q & A

Q 防犯灯の設置に関して、以前質問した際に電柱がない場所に設置できない、ソーラー発電の防犯灯も高額で設置することができないとの話を伺ったが、現在の検討状況は。

A 電柱を使った防犯灯とソーラー式の防犯灯を費用面で比較しますと、電柱式の防犯灯の方が安価であるため、現在のところは電柱を使った防犯灯の設置を考えています。



Q 消防団のなり手不足に対する町の対応状況は。

A 各地域において人選に苦慮されていることは把握しています。令和4年度から行政区に対しチラシの配布、ふれあい祭りでの子供向けにバッチ配布等、消防団活動のPRを始めました。少しでもなり手が増えるよう努めています。



Q 地域活性化起業人制度を導入するとあるが、どのような制度なのか。

A 3大都市圏に所在する民間企業から人材を受け入れて、民間のノウハウを活用しながら地域活性化に繋げていく仕組みになっています。活用例として地域特産品の開発や、ICT分野での専門的な知識を生かしたデジタル化の推進が挙げられます。

Q 町内で電話詐欺などが増えているとの話があるが、町の対応状況は。

A 町から境警察署に被害状況の確認を行い、防災無線で町内に注意喚起の周知を行っています。消費生活全般に関する出前講座の実施をしていきます。

Q 令和5年度から適応指導教室を設置する計画になっているが、具体的な内容は。

A 教室の設置場所については今までと同様でB&G海洋センターで考えています。また、各学校に出向いて、学校の教室で開催できるような仕組みも現在検討しています。職員の配置については全体で2名、1日1名の配置で考えています。

Q 町内でも外国人の方が増えているが、そういう方の子供が小学校に入学した際のケアはどのように行っているのか。

A 日本語が不自由な児童・生徒に向け、1日1時間程度、個別にメンタルフレンドを付けて支援をしています。

※メンタルフレンドとは…児童相談所が関わっているひきこもり、不登校などの子供に対し、児童福祉に理解を有する方々などとのふれあいを通じて子供の健全な育成を援助するもの。